

私の将来の夢は、医師になって故郷の三重県でたくさんの人々を救うことです。私が医師になりたいという夢を持ったのは幼稚園児の頃でした。医師になりたいと思ったきっかけは二つあります。

一つ目は幼い頃、病気になってしまった時にまだ幼い私の言いたい事を親身になって聞いてくれ、粉薬が苦手な私に合った処方箋を出して、喉の痛みを治してくれたことがあったからです。その出来事があるまでは幼い頃の私にとって、病院はとても怖いところという印象や、不気味な器具を使う怪しげな場所という気持ちがとても強くあり、何があっても病院に行きたくないという気持ちが心の中で大きくなっていました。

二つ目は、三重県は医師や病院の数が足りていない地域があるということを知ったからです。私は、救える命が医師不足や住んでいる場所によって救えないということはとても悲しいことだと思います。その為に私は、少しでも三重県の医療体制をより良くし、県民が笑顔で健康に暮らせるように三重県で医師になろうと考えるようになりました。

今すぐ私にできることは、たくさんあると思います。例えば、身近な人に親切にすることです。身近な人に優しくするということは、患者にも優しく対応できるようになるということだと私は考えます。そして、身近な人に優しくできない人は、患者に寄り添うことができない医師になってしまうからです。そのような医師に私が病気で心身共に弱っている患者だったとしたら、安心して治療を任せられないと思います。このようなことを日ごろから心がけて行動することによって、未来の三重県の医療に貢献することができると思います。私は、三重県で安心安全に暮らせ、健康で長生きできる県にしたいと考えています。そして、救えるのに救えない人を無くし、不安なく病院に行けるようにしていきたいです。